

令和元年度 飯塚圏域障がい者地域自立支援ネットワーク
第1回全体会議次第

日 時 令和元年11月18日(月)
午後3時～
場 所 穂波庁舎4階
市民会議室1-1・1-2

1 開会

- (1) 開会のあいさつ
- (2) 事務局からの連絡

2 協議

- (1) 自立支援ネットワークの活動
 - ① 専門部会（在宅医療ケア部会）
 - ② 専門部会（相談支援部会）
 - ③ 就労支援分野
- (2) 飯塚市・嘉麻市・桂川町障がい者基幹相談支援センター等運営事業
平成30年度相談支援事業の報告及び令和元年度計画
 - ① 基幹相談支援センター
 - ② 相談支援機能強化事業
- (3) その他の提案
- (4) 意見交換

3 閉会

飯塚圏域障がい者地域自立支援ネットワークの
活動について

専門部会（在宅医療ケア会）活動報告書

部会名	在宅医療ケア部会（課題解決型）
目的	医療ケアを必要としている障がい児者とそのご家族が地域で安心して暮らしていくために、医療・福祉・教育・行政等が各支援分野の垣根を越えた取り組みを行うことで、社会資源の有効活用や開発（特に宿泊を伴うレスパイトの場の充実）を図る。
構成員領域	医療機関（医師・SW）／訪問看護ステーション／児童発達支援事業所／保健師（県・市町）／障がい者福祉担当職員／障がい者基幹相談支援センター職員 ※検討課題に応じて、新たな支援機関に参加を呼びかける
設置期間	上記課題の解決を以て終了とする（その後はネットワーク型として設置を検討）
開催頻度	1回／2ヶ月（必要に応じて臨時開催有り）
活動報告	<p>【平成30年度】</p> <p>■第1回在宅医療ケア部会 【開催日】平成30年5月25日 【参加者】部会委員12名、事務局7名 【内 容】・ワーキンググループ「研修企画部門」「連携ツール開発部門」「情報管理・災害対策部門」の確認</p> <p>○研修企画部門：①基本的な医療ケアに関する総論、 ②姿勢保持の基本知識、 ③摂食・嚥下アプローチについて ④重症児・医療的ケア児の成長支援について ※第1回目は平成30年7月5日に開催予定</p> <p>○連携ツール開発部門：地域の通所事業所（看護師）、訪問看護師、相談支援専門員などに参加を呼び掛け6月に第1回検討会を予定。</p> <p>★<u>連携ツール開発部門：第1回目検討会（平成30年6月21日）</u> 【参加者】9事業所10名（医療ケアを実施している児童通所事業所、相談支援事業所、訪問看護ステーションなど）、部会委員2名、事務局2名 【内容】各職種より、連携がスムーズになり、またリスク管理をしっかりと行うためにあると良いと思うツールについて意見を出し合った。</p> <p>★<u>研修企画部門：第1回目研修会開催（平成30年7月5日）</u> 【参加者】114名（飯塚病院職員25名、地域からの参加者89名：訪問看護師、理学療法士、作業療法士、相談支援専門員・教職員など） 【内容】「医療的ケア児への医療者の見方・考え方」飯塚病院小児科医師：大矢崇志氏 「地域で暮らす子どもたち～ライフステージにおける重症児との関わり～」 飯塚病院リハ科作業療法士：毛利あすか氏</p>

■第2回在宅医療ケア部会

【開催日】平成30年7月17日

【参加者】部会委員9名、事務局7名

【内 容】○研修企画部門：第1回研修会（7月5日）の振り返り。

○連携ツール開発部門：第1回検討会の報告。

○災害対策部門：7月6日の水害についての状況報告。今回の水害の経験をもとに、どのような事で困ったか、今後どのような対策が必要か。

★連携ツール開発部門：第2回目検討会（平成30年7月19日）

部会からの意見を受け、今後のツール開発検討会の進め方について確認。

■第3回在宅医療ケア部会

【開催日】平成30年9月7日

【参加者】部会委員13名、事務局7名

【内 容】

○研修企画部門：第1回目の研修会の報告、第2回目（12月頃に開催予定）のテーマについての意見交換。喀痰吸引等研修（3号）の開催について、麻生教育サービスの紹介。

○災害対策部門：各職種からの情報紹介と意見交換。個別の対象者ごとに、住んでいる地域の環境を含めた対策シートの作成や2市1町での災害対策についての勉強会等の意見が出された。

○連携ツール開発部門：今後の進め方についての確認、医療機関と福祉事業所間でリスク管理や連携がより充実するシートの検討、相談支援専門員などのコーディネーターが活用できるアセスメントシートの作成等を予定している事を報告。

★連携ツール開発部門：第3回目検討会（平成30年10月25日）

- ・医療機関・訪問看護ステーション・通所事業所（看護師）間で正確な医療情報の共有を図るためのシートの検討
- ・地域生活を支える為に必要なアセスメント内容の見直し、アセスメントを行う相談支援専門員・通所事業所間のアセスメントの情報共有方法についての検討

★連携ツール開発部門：第4回目検討会（平成30年11月14日）

本人やご家族が持ち歩くサポートファイル案が出されており、必要なシートの種類について意見を出し合った。

■第4回在宅医療ケア部会

【開催日】平成30年11月29日

【参加者】部会委員11名・事務局7名

【内 容】

○研修企画部門：第2回目の研修会企画。内容は「摂食・嚥下・口腔ケアに関するレクチャー」

○災害対策部門：①防災対策についての情報共有方法として勉強会を企画。飯塚市防災安全課の地域防災マネージャーにレクチャーを頂く。②個別の準備として「災害時個別避難計画書」のシート作成を目指す。その際、実際に呼吸器を使用している当事者ご家族に協力依頼する。

○連携ツール開発部門：ツール検討会で話し合われた内容を元に部会委員と更に検討。

○「第3回医療的ケアを必要とする方の支援に関する意見交換会」企画
これまでの部会の取り組みを地域の方々に報告し、更に意見を頂く。対象者は第二回の対象者に加え、当時者ご家族、地域の医療機関、特別支援学校にも声掛けする。

★連携ツール開発部門：第5回目検討会（平成30年12月6日）

「総合的なアセスメント」の内容について相談支援専門員のみ（6人）で意見交換。

★連携ツール開発部門：第6回目検討会（平成30年12月12日）

相談支援専門員との検討内容を盛り込み更にシートの種類や内容について検討。

★研修企画部門：第2回目研修会開催（平成30年12月21日）

【参加者】72名（飯塚病院職員33名、地域からの参加者29名：23事業所）

【内容】「摂食・嚥下・口腔ケアに関するレクチャー」講師：飯塚病院歯科口腔外科（中松耕治先生）、飯塚いとう歯科クリニック（伊藤剛先生）、北九州市立総合療育センター（山本晋也先生）

★連携ツール開発部門：第8回目検討会（平成31年1月8日）

サポートファイル案（A～Hシート）についての内容検討継続。

■第5回在宅医療ケア部会

【開催日】平成31年1月8日

【参加者】部会委員11名・事務局5名

【内 容】

○研修企画部門：第2回目の研修会「摂食・嚥下・口腔ケアに関するレクチャー」の振り返りと、第3回研修会企画内容についての検討。

○災害対策部門：①防災対策の勉強会の具体的内容の協議。②「災害時個別避難計画書」のシート作成：飯塚市のケースでの具体的な進め方について報告。

○連携ツール開発部門：ツール検討会で話し合われた内容を元に部会委員と更に検討。

○「第3回医療的ケアを必要とする方の支援に関する意見交換会」企画

★災害対策部門：平成31年2月15日

飯塚市のケース：第1回の話し合い

■第6回在宅医療ケア部会

【開催日】平成31年3月5日

【参加者】部会委員10名・事務局7名

【内 容】

○研修企画部門：第3回研修会「医療的ケアが必要な子ども達の現状と課題～記者、親として考えること～」講師：西日本新聞社 編集局生活特報部 編集委員（三宅大輔氏）についての検討。

○災害対策部門：①防災対策の勉強会の具体的内容の協議。②「災害時個別避難計画書」のシート作成：飯塚市のケースでの取り組み状況について報告。

○連携ツール開発部門：案として形になったものについて、部会委員と内容協議。

○「第3回医療的ケアを必要とする方の支援に関する意見交換会」企画

★研修企画部門：第3回目研修会開催（平成31年3月7日）

【参加者】62名（飯塚病院職員14名、地域からの参加者48名）

【内容】「医療的ケアが必要な子ども達の現状と課題～記者、親として考えること～」

講師：西日本新聞社 編集局生活特報部 編集委員（三宅大輔氏）

★災害対策部門：平成31年3月22日

飯塚市のケース：第2回の話し合い

令和元年度

★連携ツール開発部門：第1回目検討会（平成31年4月2日）

サポートファイル案（A～Hシート）についての内容継続検討。

★災害対策部門：平成31年4月8日

飯塚市のケース：第3回検討会（コアメンバーのみ）

★災害対策部門：平成31年4月15日

飯塚市のケース：第4回検討会（自宅訪問による環境確認など）

★災害対策部門：防災研修（4月26日）※相談部会・在宅医療ケア部会合同開催

【参加者】部会委員7名 事務局7名

【内容】「大災害から生き延びるために」

【講師】飯塚市総務部防災機器管理官 内閣府地域防災マネージャー（吉田英紀氏）

★災害対策部門：令和元年5月17日

飯塚市のケース：第5回検討会（関係機関とともに災害時対応チーム支援会議を開催）※災害時個別避難計画書完成

■第1回在宅医療ケア部会

【開催日】令和元年5月21日

【参加者】部会委員名9名・事務局6名

【内 容】

○部会委員の変更についての確認

○年間予定についての確認

○研修企画部門：今年度の研修会内容について検討。

○災害対策部門：①防災勉強会（4月26日）についての意見交換。②飯塚市ケースの協力により完成した「災害時個別避難計画書」について報告。今後の活用についても検討。

○連携ツール開発部門：各シートの内容、シートのダウンロードを基幹で行えるかなどの検討

○「第3回医療的ケアを必要とする方の支援に関する意見交換会」企画
研修会企画部門、災害対策部門、連携ツール開発部門からの報告内容について確認。

★災害対策部門：令和元年5月31日

飯塚市のケース：第6回検討会（コアメンバーのみ）

★連携ツール開発部門：第2回目検討会（令和元年6月6日）

今後の試験活用方法についての確認（協力者：飯塚病院がかかりつけの医療的ケア児3名と、支援機関）

■第3回医療的ケアを必要とする方の地域支援に関する意見交換会

【開催日】令和元年6月15日

【対象者】当事者・ご家族／医療・福祉・行政などの関係機関
在宅医療ケア部会委員・事務局

【参加者】90名（当事者ご家族3名／医療分野32名／福祉分野25名
教育3名／行政2名／事務局・基幹25名）

【内 容】在宅医療ケア部会での取り組み内容の報告・意見交換等

★災害対策部門：令和元年7月2日：

嘉麻市のケース：第1回検討会（当事者さんへの協力依頼と進め方の説明）

★災害対策部門：令和元年8月18日

嘉麻市のケース：第2回の検討会（支援者との在宅の環境確認等）

■第2回在宅医療ケア部会

【開催日】令和元年7月22日

【参加者】部会委員10名・事務局9名

【内 容】

- 研修企画部門：第1回研修会の企画。「摂食・嚥下・口腔ケアに関するレクチャー」講師：飯塚病院歯科口腔外科（中松耕治先生）、飯塚いとう歯科クリニック（伊藤剛先生）、北九州市立総合療育センター（山本晋也先生）
- 災害対策部門：嘉麻市ケースでの取り組みについて報告。
- 連携ツール開発部門：3名の医療的ケア児と支援機関に協力いただきサポートファイルの試験活用を行うことについての報告。
- 「第3回医療的ケアを必要とする方の支援に関する意見交換会」の振り返り。

★研修企画部門：第1回目研修会開催企画会議（令和元年8月5日）

★研修企画部門：第1回目研修会開催（令和元年9月13日）

【参加者】95名（飯塚病院職員27名、地域からの参加者68名）

【内容】「摂食・嚥下・口腔ケアに関するレクチャー」講師：飯塚病院しか口腔外科（中松耕治先生）、飯塚いとう歯科クリニック（伊藤剛先生）、北九州市立総合療育センター（山本晋也先生）

★災害対策部門：令和元年9月19日

嘉麻市のケース：第3回の検討会（関係機関とともに災害時対応チーム支援会議を開催）※災害時個別避難計画書完成

■第3回在宅医療ケア部会

【開催日】令和元年10月1日

【参加者】部会委員15名・事務局7名

【内 容】

- 研修企画部門：第1回研修会「摂食・嚥下・口腔ケアに関するレクチャー」の振り返りと、第2回研修会企画内容についての検討。
- 災害対策部門：嘉麻市ケース協力による「災害時対応チーム支援会議」開催内容について報告。今後、①地域の医療機関への協力依頼方法、②災害時個別避難計画書の活用について検討していく。防災安全課と意見交換を行う。
- 連携ツール開発部門：3名の医療的ケア児と支援機関に協力いただきサポートファイルの試験活用を行っている。経過について報告。

★災害対策部門：令和元年10月21日

防災安全課との意見交換（①地域の医療機関への協力依頼方法、②災害時個別避難計画書の活用について）

★連携ツール開発部門：第3回検討会（令和元年10月23日）

サポートファイル試験活用による協力者（当事者・ご家族や各支援者）の意見をもとに、サポートファイル内容の最終的な内容について検討。

今後の活動 (案)	<p>第4回在宅医療ケア部会 【開催日】平令和元年12月 【参加者】部会委員・事務局 【内 容】現在検討している事項の継続検討</p> <p>第5回在宅医療ケア部会 【開催日】令和2年1月 【参加者】部会委員・事務局 【内 容】現在検討している事項の継続検討</p> <p>第6回在宅医療ケア部会 【開催日】令和2年3月 【参加者】部会委員・事務局 【内 容】現在検討している事項の継続検討</p>
--------------	---

専門部会（相談支援部会）活動報告書

部会名	相談支援部会（ネットワーク型）
目的	飯塚圏域における相談支援体制において、障がい児者の自立や権利擁護を重視した一般相談・計画相談が実現するよう、相談支援専門員のスキルアップやネットワーク構築を目的に設置するものとする。
構成員領域	指定特定相談支援事業所の相談支援専門員／行政職員／障がい者基幹相談支援センター職員／その他、年間計画に沿った関係機関職員
設置期間	設置期間に定め無し
開催頻度	1回／2ヶ月（偶数月）…第3金曜日 15時～17時
活動報告	<p>【平成30年度】</p> <p>■第5回相談支援部会 【開催日】平成30年12月21日 【参加者】37名（2市1町介護保険関係者5名、相談支援専門員31名、全体会委員1名） 【内 容】「介護保険への移行について」 *介護保険の概要について *意見交換</p> <p>■第6回相談支援部会 【開催日】平成31年2月15日 【参加者】23名（相談支援専門員23名） 【内 容】「今年度の振り返りと来年度の活動について」 *今年度の振り返りと来年度の活動について *来年度の部会運営について</p> <p>【平成31年度】</p> <p>■第1回相談支援部会 【開催日】平成31年4月19日 【参加者】31名（相談支援専門員29名、行政職員2名） 【内 容】「法改正について（行政説明）」 *行政説明 ・モニタリング実施標準期間の見直しについて（確認） ・指定相談支援事業所との意見交換 *今年度の部会活動について</p>

	<p>【令和元年度】</p> <p>■第2回相談支援部会 【開催日】令和元年6月21日 【参加者】51名（施設入所職員17名、相談支援専門員30名、行政職員4名） 【内 容】「福祉事業所意見交換会（入所支援施設）」 *施設入所紹介 *グループワーク（意見交換）</p> <p>■第3回相談支援部会 【開催日】令和元年8月16日 【参加者】26名（2市1町社会福祉協議会4名、相談支援専門員22名） 【内 容】「社会福祉協議会について」 *2市1町それぞれの社会福祉協議会事業説明 *意見交換</p> <p>■第4回相談支援部会 【開催日】令和元年10月18日 【参加者】21名（相談支援専門員21名） 【内 容】「視覚障がい者の支援について～歩行訓練士の立場から～」 *講師：一般社団法人ぱるむ 代表 伊東良輔氏</p>
<p>今後の活動 （案）</p>	<p>■第5回相談支援部会 【開催日】12月20日（金）15：00～ 【参加者】相談支援専門員 【内容】「相談支援業務について」 ※詳細は11月の基幹センター会議、企画会議にて検討</p> <p>■第6回相談支援部会 【開催日】2月21日（金）15：00～ 【参加者】相談支援専門員 【内容】「来年度の活動について」 ※詳細は1月の企画会議にて検討</p>
<p>企画会議</p>	<p>【開催頻度】1回／2ヶ月（奇数月）…第3金曜日 13時30分～15時 【場所】飯塚市役所 穂波庁舎4階 市民会議室1-1・1-2 【参加者】部会長・副部会長・企画委員3名・事務局（基幹センター）2名 【内容】翌月以降の部会において、どのような形で実施するか検討や圏域内の相談支援体制における意見交換等</p>

就労支援分野活動報告

就労ネットワーク活動報告

開催日・場所 毎月第4火曜 セルプちくほ（平成31年4年～令和元年10月）

- 4月 ハローワークによる制度説明
- 5月 事例検討会（事業所）
- 6月 事例検討会（就業・生活支援センター）
- 7月 勉強会：福岡職業センターの支援について
- 8月 12月開催「意見交換会」の内容について（於：さくらんぼ）
- 9月 高等部在籍中対象者アセスメントの見直しについて（行政を交えた協議）
- 10月 障害者雇用面談会後の情報交換会

就労系福祉サービス事業所・相談支援事業所合同意見交換会

「気軽に声のかけあえる地域をめざして」

開催日 平成30年11月22日（木） 立岩交流センター

目的 就労を希望している方の、事業所の取り組みや支援から出てきた課題について、自分の事業所以外の事業所での取り組みを知ることで、事業所間の連携と顔の見える関係作りを目的として開催。

参加者 就労継続支援A型事業所：8名（5事業所）
就労継続支援B型事業所：18名（15事業所）
移行事業所：7名（5事業所） ハローワーク：1名
就業・生活支援センター：4名 その他：1名
2市1町障がい福祉担当者：8名 基幹センター：9名

内容 ①就労ネットワーク活動報告
②就労系福祉サービス事業所活動報告
③定着支援について（行政説明）
④意見交換会

「見たい・知りたい就労系福祉サービス事業所見学会」

目的 意見交換会を開催した後のアンケートに「他の事業所の取り組みについて知る機会がない」といった意見を多数いただき、お互いの事業所について理解を深めることを目的として事業所見学会を2回開催。

【第1回】

開催日 平成31年3月12日（火）
見学先 社会福祉法人 筑穂福祉会 セルプちくほ
人数 35名（就労系福祉サービス事業所・相談支援事業所・医療従事者）
内容 事業所見学・質疑応答とグループワーク

【第2回】

開催日 令和元年9月26日（木）
見学先 社会福祉法人 愛光会 セルプ清浄・シズキ福祉工場・さくらんぼ
人数 15名（就労系福祉サービス事業所・相談支援事業所・医療従事者）
内容 事業所見学・質疑応答

直轄地区・飯塚地区基幹センター合同企画 「卒業に向けた進路支援について」

開催日 令和元年 8月22日（木）直方中央公民館
目的 卒業後の進路支援に向けて「福祉サービスの利用方法」・「就業・生活支援センターの役割」について話題提供をすることで、顔の見える関係の構築と卒業後も地域で安心して過ごすための進路支援を目的として開催。

参加者 嘉穂特別支援学校 直方特別支援学校 北九州高等学園
福岡高等学園 嘉穂東高等学校 嘉穂総合高等学校
嘉穂総合高等学校（城山校）の教職員の皆様
福岡県央障がい者就業・生活支援センター
障害者就業・生活支援センターじゃんぷ
障がい者就業・生活支援センターBASARA
直轄地区障がい者基幹相談支援センターかのん
飯塚市・嘉麻市・桂川町障がい者基幹相談支援センター

内容 ①全体説明
「障がい福祉サービスについて」
「就労支援アセスメントシートについて」
「障がい者就業・生活支援センターについて」
②意見交換会（グループ別）

今後の予定

就労系福祉サービス事業所関係機関合同意見交換会

「気軽に声のかけあえる地域をめざして2」

- 開催日 令和元年12月6日（金）
- 場所 飯塚市立岩交流センター
- 対 象 就労継続支援A型事業所 就労継続支援B型事業所
就労移行事業所 就業・生活支援センター
ハローワーク 相談支援事業所
特別支援学校・高等部教職員 医療従事者（ソーシャルワーカー）
- 内 容 ①全体報告
それぞれの事業所が語る・・・「働く」ことの支援について
A型・B型の代表者から「働く」支援について1事業所15分程度
で話題提供をして頂く。
②意見交換会

「見たい・知りたい就労系福祉サービス事業所見学会」

令和2年3月上旬ごろ開催予定

飯塚市・嘉麻市・桂川町
障がい者基幹相談支援センター等運営事業
平成30年度実施報告・令和元年度実施計画

令和元年11月18日
飯塚圏域障がい者地域自立支援ネットワーク
第1回全体会議

障がい者基幹相談支援センターの業務内容と人員体制

(1) 主な業務内容

地域の相談支援の拠点として総合的な相談業務及び成年後見制度利用支援事業を実施し、地域の実情に応じて以下の業務を行う。

①総合的・専門的な相談支援の実施

障がいの種別や各種ニーズに対応する

- ・総合的な相談支援の実施
- ・専門的な相談支援の実施

③地域移行・地域定着の促進の取組

- ・入所施設や精神科病院への働きかけ
- ・地域の体制整備に係る調整

②地域の相談支援体制の強化の取組

- ・相談支援事業者への専門的指導、助言
- ・相談支援事業者への人材育成
- ・相談機関との連携強化の取組

④権利擁護・虐待の防止

- ・成年後見制度利用支援事業
- ・虐待防止（兼・虐待防止センター）

(2) 人員体制

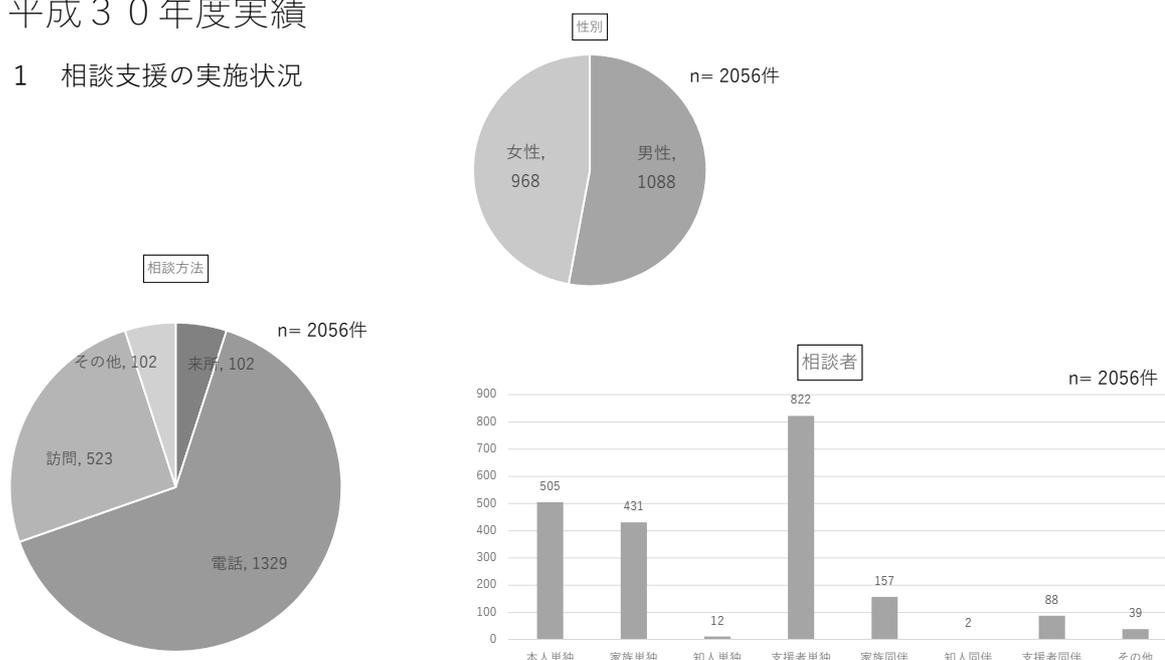
- ・常駐の専門的職員を配置
- ・業務責任者として、常勤職員のうち1名をセンター長とする
- ・常勤職員は概ね週40時間（月20日）の勤務
- ・非常勤職員は週25時間以上（月13日程度）の勤務
- ・非常勤職員の指定相談支援事業所または地域活動支援センター事業所との兼務は業務に支障がない範囲で可能とする
- ・専門的職員は相談支援専門員、社会福祉士、精神保健福祉士または保健師等の資格を有し、障がい者等の相談支援業務に関し5年以上の実務経験を有する者を配置する

職員配置状況	
常勤	5名
非常勤	3名

専門的資格の取得状況（重複）			
相談支援専門員	8名	社会福祉士	4名
精神保健福祉士	3名	作業療法士	1名
介護支援専門員	2名	その他	3名
介護福祉士	4名		

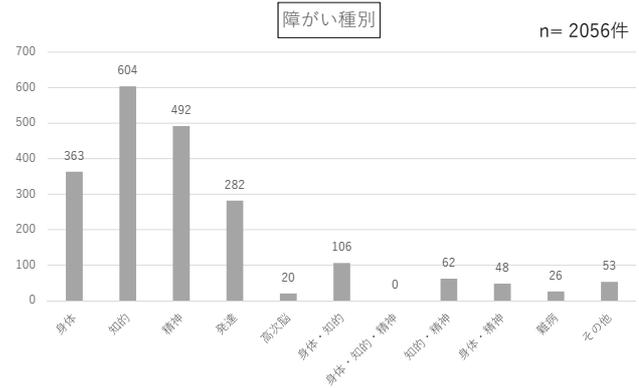
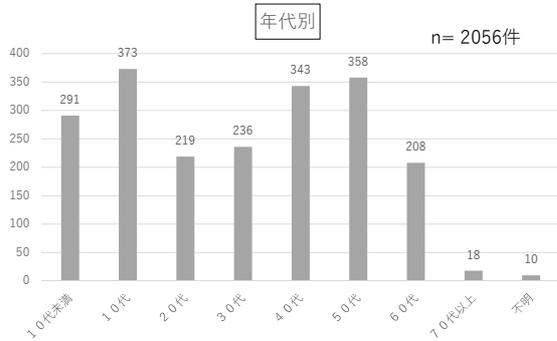
平成30年度実績

1 相談支援の実施状況



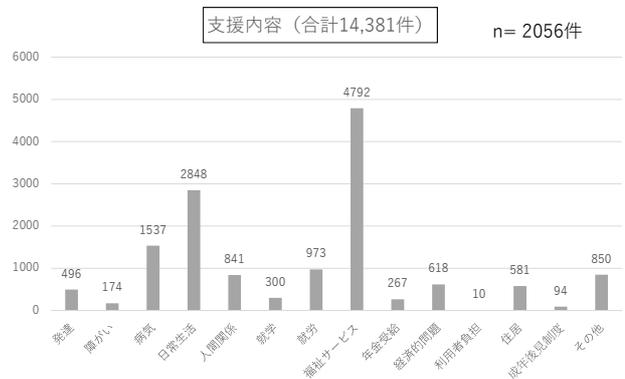
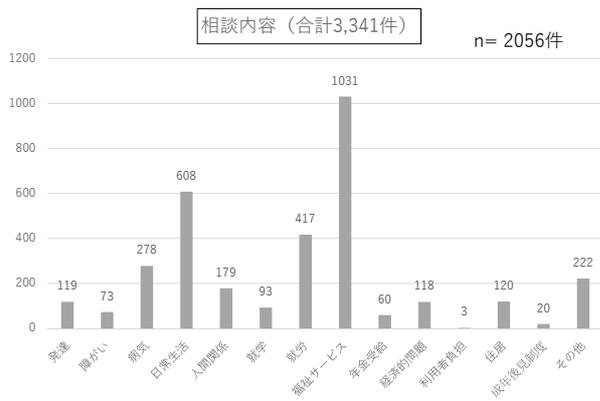
平成30年度実績

1 相談支援の実施状況



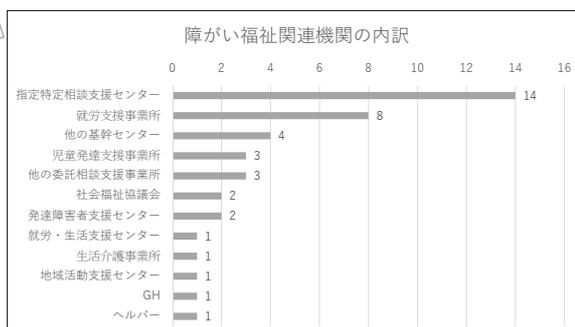
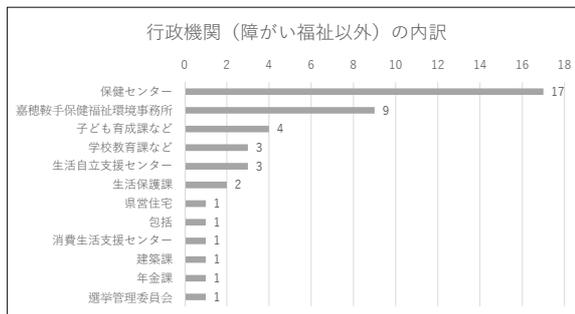
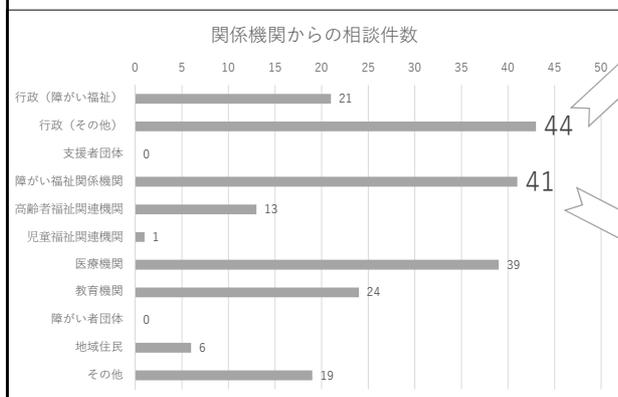
平成30年度実績

1 相談支援の実施状況



平成30年度実績

2 関係機関からの相談等



平成30年度実績

- 3 基幹相談支援センター会議 月2回開催
- 4 飯塚圏域自立支援ネットワークの活動内容

会議名			開催状況
全体会議			年1～2回
運営事務局会議			毎月第3水曜日
専門部会	相談支援部会	部会	偶数月第3金曜日
		企画会議	奇数月第3金曜日
	在宅医療ケア部会	部会	奇数月
		・研修部門	年3～4回
		・ツール部門	毎月1回
	・災害部門	毎月1回	

平成30年度実績

5 その他の活動

分野		開催状況	内容
就労支援	就労ネットワーク会議	毎月1回	就労移行事業所のネットワーク作り
	就労継続支援A型・B型意見交換会	4月24日	意見交換会
	就労継続支援A型事業所説明会	7月23日	A型事業所体制整備 意見交換
	就労支援事業所意見交換会	11月22日	意見交換会
	就労系福祉事業所見学会	3月12日	セルフちくほ見学
精神保健	精神保健福祉関係者会議（Pミーティング）	毎月1回	精神保健福祉分野の連携と地域課題について
相談支援	ネットワークふくおか	年1～2回	筑豊ブロックの定例会と研修会
特別支援教育	地域懇談会	5月31日	福祉サービスの説明
	特別支援学校意見交換会	8月22日	卒業に向けた進路について
権利擁護	筑豊地区自立支援協議会合同研修会	8月29日	「障がいのある方の意思決定支援について考える」 講師：上智大学 大塚晃氏
地域啓発	障がい者理解啓発講演会	11月10日	「寝たきり芸人あそどっぐ流お笑い生活 ～寝たきり生活のススメ」講師：あそどっぐ氏
研修関係	障がい者支援従事者等スキルアップ研修	2月21日22日	講師：沖縄大学 島村聡氏

平成30年度実績

研修等の参加実績

月		月	
4月	発達障がい児・者のこだわり行動の理解と支援 バリアフリー展（主に移動に関する福祉機器、福祉車両等） 子どもを地域で支える会筑豊		福岡県嘉穂鞍手保健福祉環境事務所嘉穂鞍手保健所運営協議会保健福祉部会 飯塚市中心障がい児（生）修学指導委員会
5月	ネットワークふくおか世話人会 療育等支援事業地域懇談会	9月	難病のある人の就労支援者向け研修 相談支援従事者現任者研修（11日12日彦田：ファシリ参加） 断酒会
6月	相談支援従事者 指導者養成研修 NPO法人嘉飯山ネットBASARA 虐待研修 子ども地域で支える会筑豊 講演会		飯塚市中心障がい児（生）修学指導委員会 相談支援従事者初任者研修（講師参加） 計画相談支援事業者説明会
7月	ひきこもり支援関係者会議 筑豊地域小児在宅医療定例研修会 地域包括ケアシステム5ブロック会議全体報告会 知的障がい者施設協会相談部会 嘉麻市発達支援連携協議会		筑豊地区障がい者ケアマネジメント研究会 ごえんの会抱撲館の取組について 直轄地区障がい者等地域自立支援協議会・直轄地区地域生活支援拠点等準備会 精神障害者自立支援関係機関会議 直轄地区就労支援セミナー
8月	発達障がい研修 特別支援教育研修会 ネットワークふくおか・相談支援事業所ネットワーク部会 総会 医療的ケア児等コーディネーター養成研修（彦田2日目講師参加） 嘉麻市自殺対策連携協議会	10月	福岡県知的障害者施設協会・相談支援部会 田川圏域自立支援協議会・相談支援部会（虐待防止研修講師） 嘉麻市自殺対策連携協議会
	ふれあいHAND講演会・自殺対策 大地の森 虐待防止研修 講師 筑豊地区まちづくり協議会講演会災害と障害 自立支援センターカレン 虐待防止研修 講師 福岡県相談支援従事者初任者研修 講師	11月	子どもを地域で支える会筑豊（講師） 福岡県障がい者虐待防止研修（講師及び受講） 福岡県こころの健康づくり大会 処遇プラン普及啓発事業 子どもの虐待防止講演会

平成30年度実績 研修等の参加実績

月		月	
11月	筑豊地域精神科医療研究会～お金のトラブルについて～ 「教育と医学の会」シンポジウム・発達障がいのある子どもへの合理的配慮とは 福岡県障がい者相談支援従事者現任研修（受講・ファンリ） 5ブロック地域包括ケアシステム推進協議会 かかりつけ医連携事業自殺予防	2月	九州地区知的障がい者福祉協会・種別部会合同研修会 小児科医会勉強会 地域自立支援協議会担当者会議 筑豊地区身体障がい者相談員研修会 社会福祉法人愛光会（清浄学園） 障がい者虐待防止研修
12月	ピープルファースト奈良大会 ネットワークふくおか・北九州ブロック研修会 子どもを地域で支える会筑豊 北九州療育センター見学会&小児等在宅医療多職種研修会 障がい者週間本庁舎多目的ホール相談ブース 思春期頃の発達障害児の様子と子どもへの支援の実際 研修会 ごえんの勉強会「パーソナリティ障がいの特性の理解～支援のポイント」 全国知的障がい者福祉協会全国大会・福岡大会 飯塚市中心障がい児（生）修学指導委員会	3月	田川地区自立支援協議会障害児通所支援事業所研修会 自殺未遂者支援連携対策強化会議 相談支援専門員専門別研修（意思決定支援） 「精神障がいのある方と一緒に暮らせる社会を目指して」シンポジウム 筑豊地区小児在宅医療定例研修会（在宅医療ケア部会共催） ピープルファースト・プレゼンテーション（グリーンコープ） 福岡県知的障害者施設協会相談部会 市町村社会福祉協議会公開講座（受講・講師） 相談支援専門員専門別研修（人材育成）
1月	ごえんの会（筑豊地区障がい者ケアマネジメント研究会）講演会 小児在宅医療シンポジウム（受講・シンポジスト） 嘉麻市自殺対策連携協議会 嘉麻市障害者U施策推進協議会 精神障がい者自立支援関係機関会議 ウイング飯塚新人研修 メディウエルミーティング ひきこもり支援関係者会議		8050問題 シンポジウム 飯塚市消費生活センター事例研修会 難病とストレスケア研修会 ピープルファースト交流会 子どもを地域で支える会・筑豊 筑豊ブロック市町村社協連絡協議会公開講演会（受講・講師）

飯塚市・嘉麻市・桂川町 障がい者基幹相談支援センター

令和元年度 事業実施計画（予定）

- 所在地 飯塚市役所穂波庁舎3階
- 開所時間 8:30～17:15 ※土日、祝日、年末年始は休み
- 利用者負担 無料
- 職員体制 8名

（主な業務内容）

地域の相談支援の拠点として総合的な相談業務及び成年後見制度利用支援事業を実施し、地域の実情に応じて以下の業務を行う。

①総合的・専門的な相談支援の実施

- 障がいの種別や各種ニーズに対応する
- 総合的な相談支援の実施
- 専門的な相談支援の実施

③地域移行・地域定着の促進の取組

- 入所施設や精神科病院への働きかけ
- 地域の体制整備に係る調整

②地域の相談支援体制の強化の取組

- 相談支援事業者への専門的指導、助言
- 相談支援事業者への人材育成
- 相談機関との連携強化の取組

④権利擁護・虐待の防止

- 成年後見制度利用支援事業
- 虐待防止（兼・虐待防止センター）

令和元年度年事業実施計画

	専門部会	研修会	企画
4月	相談支援部会	専門部会研修会（防災）	
5月	在宅医療ケア部会		
6月	相談支援部会 在宅医療ケア部会意見交換会	飯塚市保健師との意見交換会	
7月	在宅医療ケア部会		スタートアップ研修会①
8月	相談支援部会	権利擁護研修	特別支援学校意見交換会
9月	在宅医療ケア部会	障がい者理解啓発講演会	
10月	相談支援部会		スタートアップ研修会②
11月	在宅医療ケア部会	ごえんの講演会	就労分野意見交換会
12月	相談支援部会		
1月	在宅医療ケア部会	みんなの勉強会	スタートアップ研修会③
2月	相談支援部会	ネットワークふくおか研修会	
3月	在宅医療ケア部会		スタートアップ研修会④

その他の活動

- 就労分野 就労ネットワーク（月1回） 就労系事業所見学会
- 精神保健分野 精神保健福祉関係者会議（月1回）
- 地域連携 ごえんの会（月1回）
- 相談支援分野 ネットワークふくおか（年1～2回） 相談支援専門員勉強会支援
- 拠点整備事業 意見交換会
- 広報（基幹タイムス発行・ホームページ）

相談支援機能強化事業

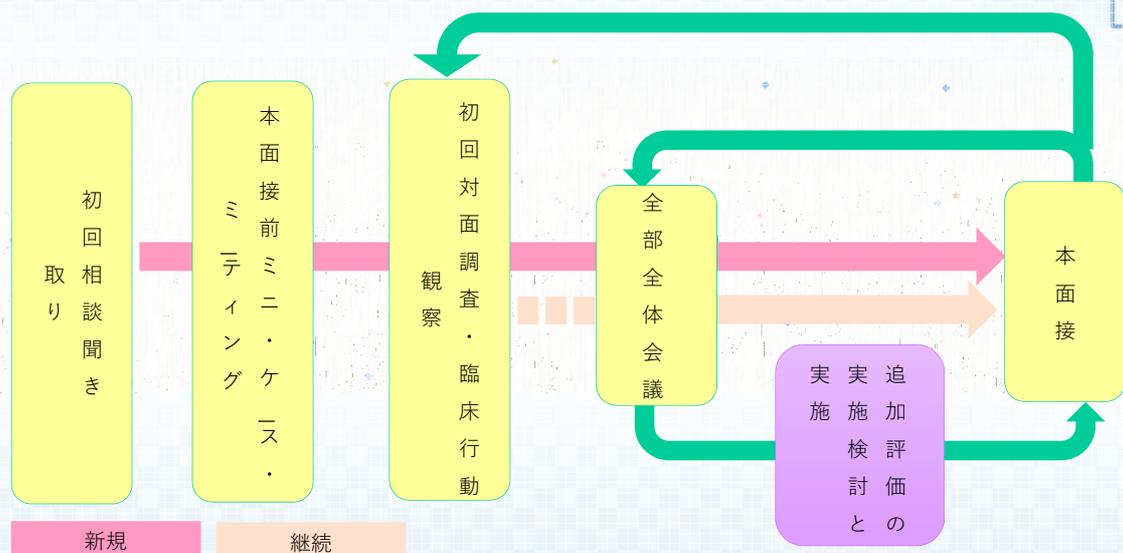
-2018年度実施報告・2019年度実施計画-

特定非営利活動法人ピース

児童発達支援センター
ミーティアス

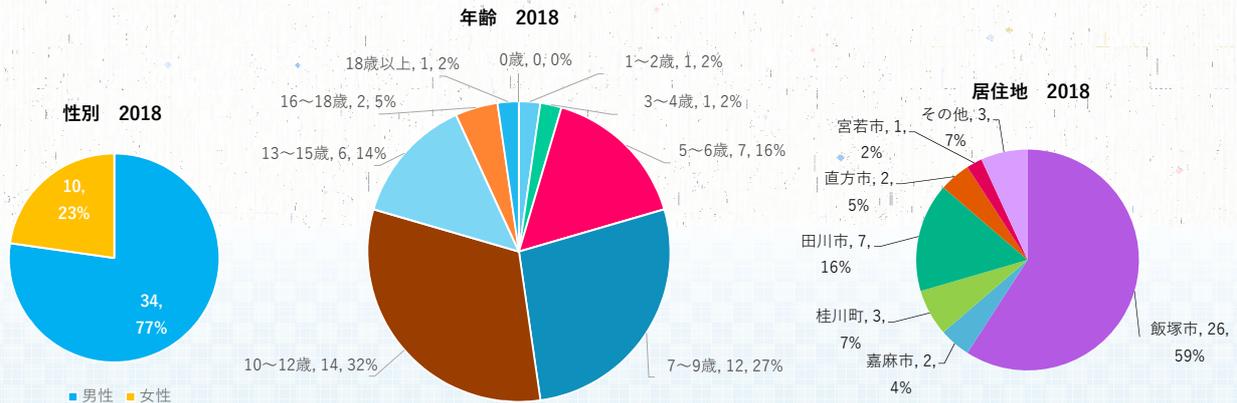
生活相談センター フォスク
相談支援専門員 弥永由津

相談支援機能強化事業の取り組み（標準的な流れ：パス）



2018年度の実施報告（性別・年齢・居住地）

- ・延べ件数：132件 利用者数：44名
- ・1名あたりの平均利用件数：3件（最小1件、最多10件）
- ・利用者の性別：男児34名、女児10名
- ・利用者の年齢的特徴：7～12歳（小学生）で過半数（26名、59%）を占める
- ・1名あたりの平均利用件数

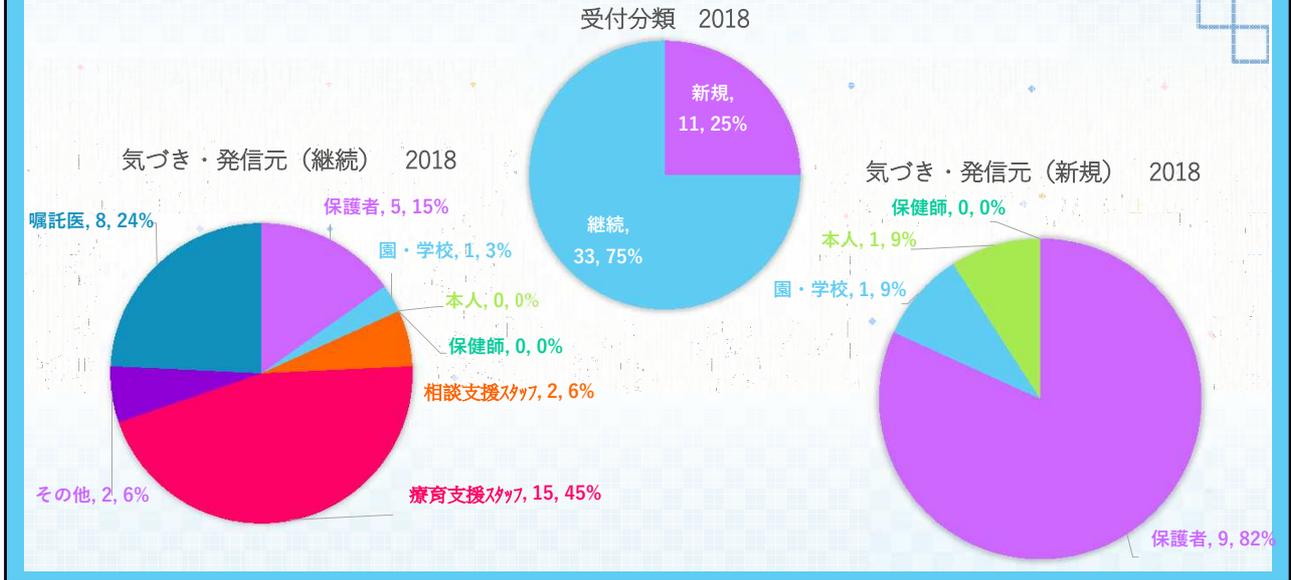


2018年度の実施報告（月別利用件数）

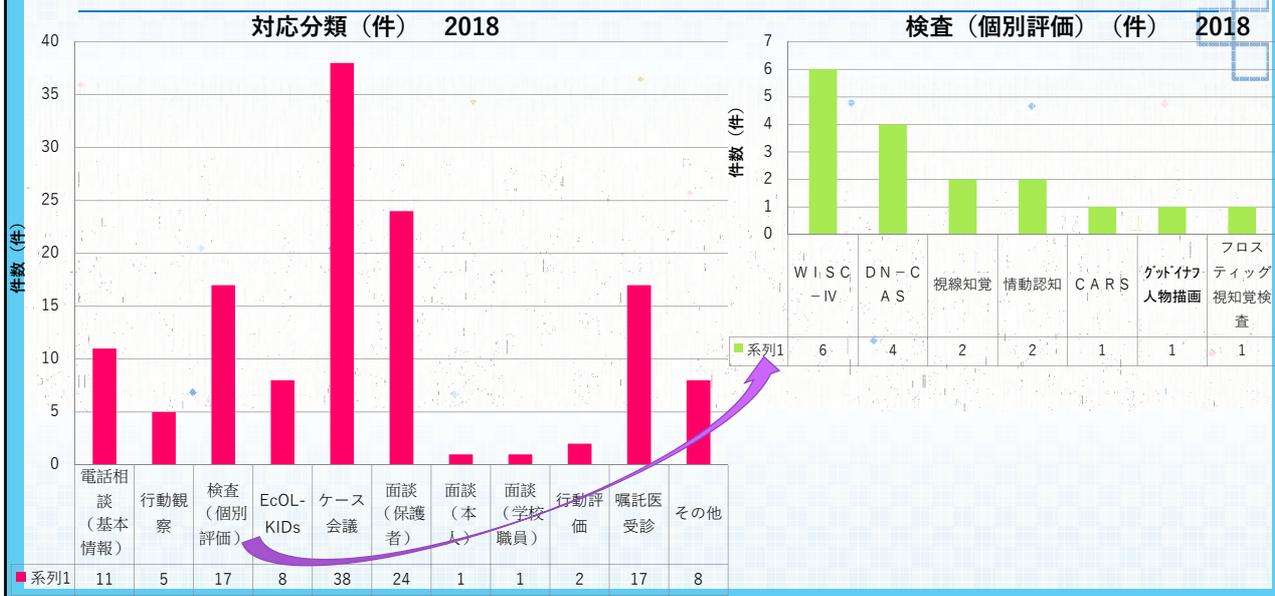
- ・月平均：12件 10月が最多29件 次に9月17件、5月・8月13件



2018年度の実施報告 (受付分類・発信元)



2018年度の実施報告 (対応)



ミーティアス事業の紹介

- 直近一年の実践を振り返る -

ミーティアス事業の紹介



ホームページ

URL : <https://www.me-to-us.com/>
「ミーティアス 飯塚」で検索

支援部門

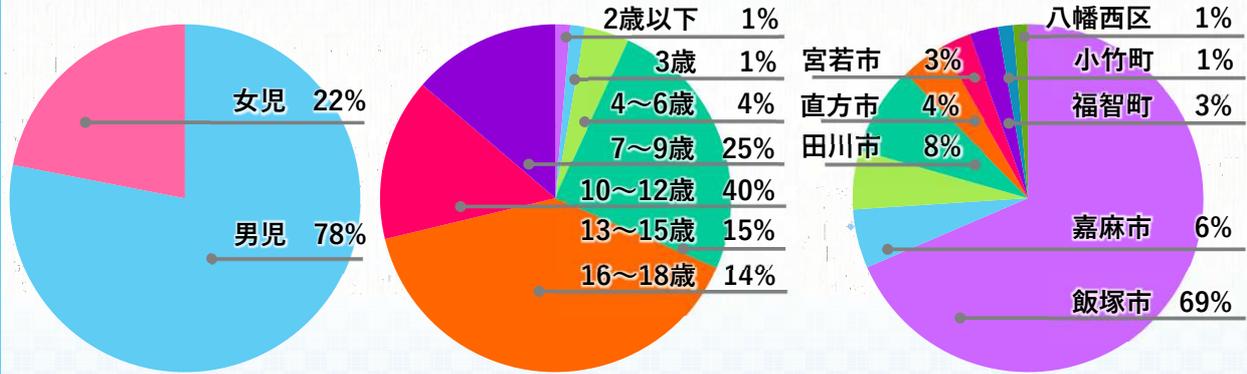
- 児童発達障害部門 キャピット
児童発達支援、放課後等デイサービス
- 重症心身障がい部門 アスタス
児童発達支援、放課後等デイサービス
- 生活相談センター フォスク
指定障がい児相談支援、特定指定相談支援、地域移行・地域定着支援
飯塚圏域基幹センター等機能強化事業

連絡先 電話番号

09496-2-2253

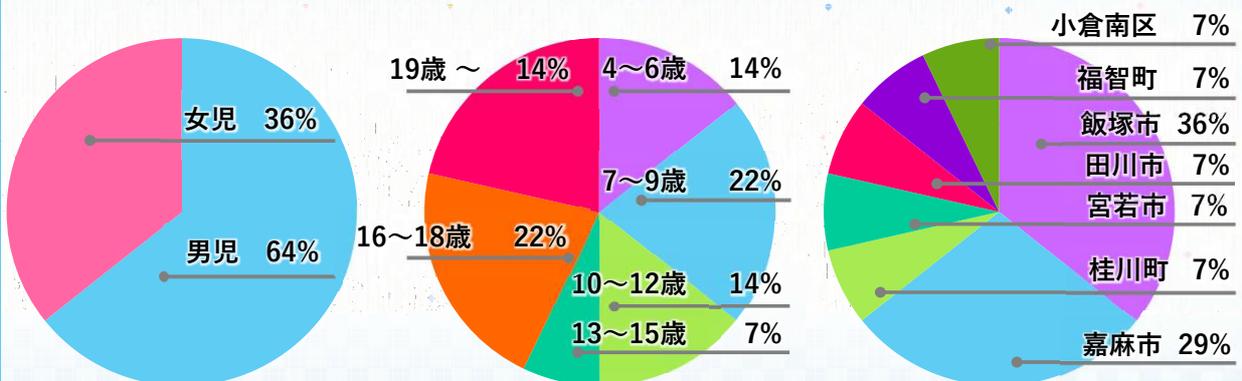
ミーティアス利用者概況

- 児童発達障がい部門 キャピット :



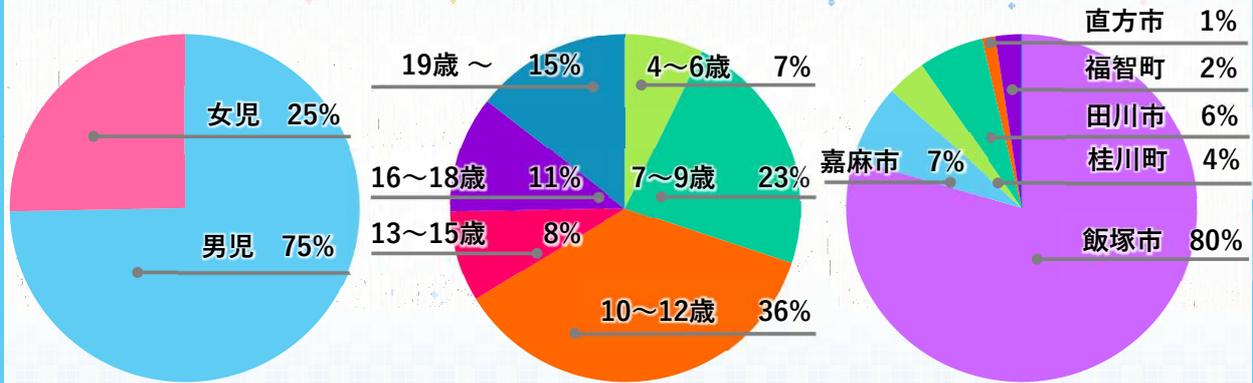
ミーティアス利用者概況

- 重症心身障がい部門 アスタス :



ミーティアス利用者概況

- 生活相談センター フォスク：



2019年度の実施計画

- ❖引き続き．．． 発達相談等を通じた相談対応の専門化の促進
 現行のパスに基づいて
 こどもたちの状態や特性を把握していく
 ライフステージに応じた療育指導と機能面接を実施していく
 対応計画について検討・立案し、保護者・関係者と共有していく
- ❖さらに．．． 療育等具体的対応の機能強化と連携化の促進
 基幹相談支援センターと連携して
 処遇困難ケースへの包括的な対応を実現・充実していく
 こどもたちを中心とした地域における連携体制を整理・整備していく

精神障がいにも対応した地域ケアシステムの構築について

第5期障害福祉計画に掲載している「精神障がいにも対応した地域ケアシステムの構築」について、自立支援ネットワーク全体会議を「協議の場」と位置付けることを提案します。

(嘉麻市・桂川町第5期障害福祉計画抜粋)

2 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築

精神病床における長期入院患者の地域生活への移行をすすめていくためには、精神科病院や地域相談支援を行う事業所などによる努力だけでは限界があり、市や関係行政機関を中心とした地域精神保健医療福祉の一体的な取り組みの推進に加え、差別や偏見のない、あらゆる人が共生できる社会の実現に向けた取り組みの推進が必要になります。このようなことから、精神障がいのある人が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、精神障がいのある人の支援にも対応した地域包括ケアシステムの構築をすすめることが大切になります。

嘉麻市・桂川町では、平成32年度末までに、飯塚圏域障がい者地域自立支援ネットワークによる協議の場を設け、必要に応じて専門部会の設置について検討します。なお、協議の場においては、圏域内の関係機関と連携し、精神障がいのある人への地域生活支援のニーズや課題を整理し、地域移行の推進に努めます。

(第5期飯塚市障がい福祉計画抜粋)

2 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築

(1) 基本的な考え方

精神科病院における長期入院患者の地域生活への移行を進めていくためには、市町村を中心とした地域精神保健医療福祉の一体的な取り組みの推進に加え、差別や偏見のない、あらゆる人が共生できる社会の実現に向けた取り組みの推進が必要です。

これを踏まえ、精神障がい者が、地域の一員として安心して自分らしく暮らすことができるよう、精神障がい(発達障害及び高次脳機能障害を含む。)にも対応した地域包括ケアシステムの構築を進めることが、国の基本指針において示されています。

(2) 国の指針(目標値設定にあたっての指針)

協議の場の設置	2020年度末までにすべての市町村ごと、または複数市町村による共同設置による協議会やその専門部会など保健、医療、福祉関係者による協議の場を設置することを基本とする。
---------	--

(3) 本市における成果目標

国の指針を踏まえ、計画期間内に、飯塚圏域障がい者地域自立支援ネットワーク(以下、自立支援ネットワークという。)による協議の場を設け、必要に応じて専門部会の設置について検討します。なお、協議の場においては、圏域内の関係機関と連携し、精神障がい者への地域生活支援のニーズや課題を整理し、地域移行の推進に努めます。